

「鐘ヶ淵地区まちづくり計画」の改定について

1 概要

令和7年3月の地域産業都市委員会で報告した「鐘ヶ淵地区まちづくり計画」の改定（案）について、まちづくりパネル展等で伺った意見を踏まえ、「鐘ヶ淵地区まちづくり計画」を改定する。

2 鐘ヶ淵地区まちづくりパネル展の実施概要及び結果

（1）日時・場所

- ・令和7年3月19日（水）、20日（木・祝）
梅若小学校 ミーティングルーム
- ・令和7年3月21日（金）、22日（土）
隅田小学校 視聴覚室

（2）内容

「鐘ヶ淵地区まちづくり計画」の改定（案）について、パネルを用いて来場者に説明し、意見を伺った。また、駅前空間に関するワークショップを行った。

（3）来場者数

87名

3 パブリックコメントの実施概要及び結果

（1）公表資料

「鐘ヶ淵地区まちづくり計画」の改定（案）

（2）意見募集期間

令和7年4月14日（月）から令和7年5月16日（金）まで

（3）意見募集の周知及び公表方法

ア 実施の周知

- ・区公式ウェブサイト
令和7年4月14日（月）から令和7年5月16日（金）まで
- ・区公式X
令和7年5月16日（金）までの閲覧回数：約3,000回

イ 公表資料の閲覧場所

- ・区民情報コーナー（区役所1階）
- ・都市計画部 密集市街地整備推進課 窓口（区役所9階）
- ・鐘ヶ淵まちづくりの駅（墨田三丁目40番3号）

（4）意見提出方法

郵送、ファックス、電子メール又は持参

（5）意見募集の結果

意見者数：0人、意見数：0件

4 意見等の概要と区の考え方

	意見等の概要	区の考え方
1	踏切はなくなってほしい。	「視点1 交通ネットワークを整える」の取組として「■鉄道立体化の促進」を挙げています。これまでも都や東武鉄道と連携して鉄道立体化の実現を目指してきましたが、引き続き早期実現に向けて調整を進めていきます。
2	駅前広場（ロータリー）の自家用車利用は10分以内にするなどの整理が必要と考える。	「視点1 交通ネットワークを整える」の取組として「■駅前広場の整備」を挙げています。いただいた意見も踏まえて、駅前広場の具体的な機能や配置について検討していきます。
3	地震、水害等の情報をわかりやすく伝えてほしい。	「視点2 災害に備える」の取組として地震、水害に対する取組を複数挙げています。今後、地域との勉強会等を通じて、各取組への理解が深まるよう努めていきます。
4	区北部は南部に比べ道も狭く、災害の避難時に混乱することが予想されるため、広い道や避難できる空間がほしい。	「視点2 災害に備える」の取組として「■地区内道路の整備」、また、「視点4 うるおいを取り込む」の取組として「■公園や荒川等へ移動しやすい環境整備」を挙げています。一定以上の道路幅員を確保した道路網の整備や、避難場所へのアクセス性の向上により、安全に避難できる環境の実現を目指します。
5	安心安全なまちづくりを進めるとともに楽しい商業空間や駅前空間を形成してほしい。	「視点2 災害に備える」の取組として、安心安全なまちづくりを進めるとともに、「視点3 にぎわいをつなぐ」の取組として、駅を中心としたにぎわい機能の誘導を目指します。
6	ショッピングモールや病院が併設されている施設がほしい。	「視点3 にぎわいをつなぐ」の取組として、生活サービス機能の誘導を目指します。

7	大きい公園が増えてほしい。	「視点4 うるおいを取り込む」に基づき、地区内は密集市街地であることからポケットパーク等の整備を進めるとともに、隣接する荒川四ツ木橋緑地や東白鬚公園等の大規模な緑地へのアクセス性を向上させることで、地区住民や来訪者が豊かな水とみどりを享受できる環境の実現を目指します。
8	長く住みたいと感じる住みやすいまちになってほしい。	「視点5 住環境を維持・向上する」の取組として、地域特性を活かしながら、居住地として選ばれる地区を目指します。
9	まちづくりについて、大学とも連携してほしい。	「視点6 地域への愛着を深める」の取組として「■鐘ヶ淵の魅力を区と地域とで共有するための取組の検討」を挙げています。その中で地区住民や近隣大学等、様々な主体との協働・連携を想定しています。
10	世代に関係なく協働できる住宅地であってほしい。	「視点6 地域への愛着を深める」の取組として、地域コミュニティの活性化を図り、住民主体のまちづくりを通じて世代を超えた協働（協働）の場づくりを支援します。
11	休日に若い方も参加できるまちづくりワークショップを開催してほしい。	本計画を基に、まちづくりの深度化に向けて、地域の皆様との意見交換の場を設けていきます。
12	課題が多いことは理解しているが、現実的な策をスピーディーに進めてほしい。	本計画を基に、まちづくりの事業化等に向けた具体的な検討を進めていきます。
13	地域の方がわかりやすい表現を心がけてほしい。	用語集を追加し、わかりにくい部分については補足を加えています。
14	高台まちづくりという文言は、地域へ不安を与えるため、計画に載せるべきではない。	これまでに水害を不安視する意見もいただいていることから、水害対策の様々な手法について、地域の皆様と議論していきます。
15	超高齢化社会に伴う社会問題である2025年問題やカーボンニュートラルに向けた視点について検討してほしい。	2025年問題やカーボンニュートラルに向けた視点について、社会的な背景や課題を踏まえ計画に反映しました。

5 「鐘ヶ淵地区まちづくり計画」の改定（案）からの主な変更箇所

	該当箇所	変更前	変更後
1	P10	—	「〇地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる【施策481】」の内容を追記。
2	P44	〇歩行者の安全性を確保するとともに、車両が円滑に移動できる交通ネットワークの <u>形成を目指します。</u>	〇歩行者の安全性を確保するとともに、車両が円滑に移動できる交通ネットワークを <u>形成することで、誰もが安全で円滑に移動できる環境の実現を目指します。</u>
3	P44	—	「〇整備に際しては、道路照明の LED 化等により脱炭素化に配慮します。」を追記。
4	P45	〇鐘ヶ淵駅前にはバスやタクシー、自家用車などの車両が待機できる空間がなく、異なる交通手段への乗り換えがしづらい状況です。そのため、鉄道立体化を見据えて乗り換え利便性の向上を <u>目指します。</u>	〇鐘ヶ淵駅前にはバスやタクシー、自家用車などの車両が待機できる空間がなく、異なる交通手段への乗り換えがしづらい状況です。そのため、鉄道立体化を見据えて乗り換え利便性の向上を <u>図ることで、誰もが地区内外へ円滑に移動できる環境の形成を目指します。</u>
5	P45	—	「〇公共交通機関等や自転車等の利用促進により、低炭素化が期待できます。」を追記。
6	P52	—	「〇建築物への省エネルギー設備の導入や雨水利用を促進し、快適性や災害時の安全性向上を図ります。」を追記。

6 「鐘ヶ淵地区まちづくり計画」の本編

資料 1 のとおり

7 今後の予定

今年度から、説明会・勉強会等による地域との意見交換を行いながら、本計画に基づくまちづくりの検討を推進していく。